

カワザンショウガイ

Assiminea lutea japonica Martens

ニナ目カワザンショウガイ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

本県においては、今のところ汽水域のヨシ帯に出現するが、生息確認地点は多くない。水辺の開発により消失の可能性がある。

形態

殻は丸味を帯びた円錐形。殻径5～6mm、殻高6～7mm。体層下部はやや角張り、褐色の色帯を持つ個体もいる。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

能登の小河川の河口域、および加賀の潟湖の汽水域など。

生態

県内の確認地点はヨシ帯につながる礫や岩などの表面であり、群生する。

生息地の条件

露出した水際を伴う汽水域のヨシ帯。

生存の危機

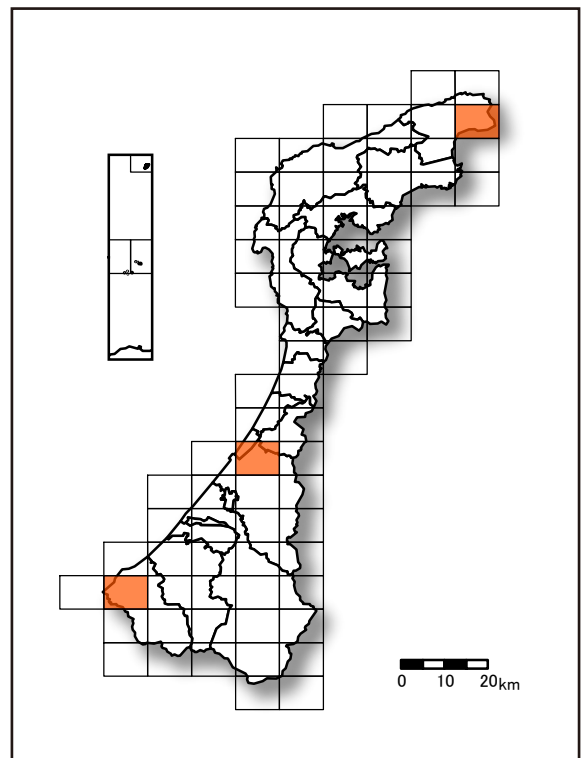
湖岸や河口域の工事。(A)

参考文献

野村卓之・高橋久 2006. 河北潟地域の陸・淡水産貝類相. 河北潟総合研究. 9 : 7-22.
野村卓之・高橋久 2008. 石川県の陸・淡水産貝類. しぶきつぼ. 29 : 45-52.



写真提供者: 高橋久



県内の分布